

UBITEQ
UBIQUITOUS TECHNOLOGY

UBITEQ
UBIQUITOUS TECHNOLOGY

第37期ビジネスレポート
2012年7月1日～2013年6月30日(期末)



ユビテックはチャレンジ25
キャンペーンに参加しています。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用して印刷しています。



証券コード：6662

株式会社ユビテック

■ 1年の歩み

<p>2012 7月</p> <p>7/3 ユビテックソリューションズ、アプリケーション開発保守業務をサポートするシステム解析ツール「REVERSE PLANET®」を発売</p>	<p>9月</p> <p>9/3 「Ubiteq Androidユーザビリティ評価サービス」、「Ubiteq Androidアプリケーション脆弱性検証サービス」をサービスイン</p> <p>9/12 「Ubiteq Webサービスサイトを公開」～ユビテックの各種サービスを独自Webサイトでご紹介・ご利用・ご決済が可能～</p> <p>9/26 Topics 01 「賢い企業のスマート節電ガイドブック」出版 ～ITで実現する、無理をしない節電方法をご紹介～</p>	<p>10月</p> <p>10/3 「LiveE! プロジェクト 第1回サイエンスコンテスト」開催 ～ユビテックが協賛した環境情報の有効活用コンテスト結果発表～</p> <p>10/10 ユビテックソリューションズ、手作業によるシステム上の作業を自動化する業務代行システム「Biz-Robo」を発売</p>	<p>11月</p> <p>11/29 「BE GREEN Next」国際標準通信規格への適合を確認 ～東大グリーンICTプロジェクト IEEE1888 通信装置の接続試験に参加～</p>	<p>12月</p> <p>12/21 第7回ファシリティマネジメント大賞 (JFMA賞)にて「UGSを活用した省エネ活用事例」で「技術賞」受賞</p>	<p>2013 1月</p> <p>1/24 平成24年度省エネ大賞にて「UGSを活用した省エネ活用事例」で「省エネルギーセンター会長賞」を受賞</p>	<p>2月</p> <p>2/1 「HEMS導入事業に係る補助対象機器」に認定 ～家庭用省エネシステム「BE GREEN Next Home (HEMS)」が採択～</p> <p>ユビテックソリューションズ、人材管理ソリューション「チームスピリット」を本格的に発売</p>	<p>3月</p> <p>3/25 Topics 02 IPA、「セキュアな自動車」に向けて「自動車の情報セキュリティへの取組みガイド」及び「2012年度 自動車の情報セキュリティ動向に関する調査」を一般公開 ～自動車の情報セキュリティ取組み事項のまとめ及び技術・事例調査に協力～</p>	<p>4月</p> <p>4/30 Topics 03 「品川区エコパワーカンパニー」に認定</p>	<p>6月</p> <p>6/3 Topics 04 「安全なAndroidアプリケーションのための10箇条」を公表 ～安全なAndroidアプリケーションを実現するために気をつけるべきこと～</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Topics 01 「賢い企業のスマート節電ガイドブック」出版

今や、企業節電は待ったなしの至上命題。…でも、ガマンばかりでは続かない! 「節電努力を尽くしてきたけれどさらにもう一段の成果をあげたい」「手間をかけずにスマートな節電がしたい」という問題意識をお持ちの総務部門の方々、節電担当の方々向けに「賢い企業のスマート節電ガイドブック」を出版いたしました。

企業にとって節電は、社会貢献のみならず、コスト削減という点からも重要な課題です。本書では、改正された省エネ法や東京都条例など、企業節電を取りまく最新情報はもちろんのこと、当社開発の省エネソリューション「BE GREEN Next」を利用したITによるスマートな節電方法を解説し、大塚商会、キャノンマーケティングジャパンをはじめ、お客様の導入事例も多数紹介しています。



Topics 02 IPAより公開された自動車の情報セキュリティ取組み事項のまとめ及び技術・事例調査に協力

2013年3月25日に独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) より一般公開された「自動車の情報セキュリティへの取組みガイド」及び「2012年度 自動車の情報セキュリティ動向に関する調査」の作成に、当社の各種情報家電や車載機端末の組込み機器開発における豊富な経験と技術を活かし、協力しました。

- 「自動車の情報セキュリティへの取組みガイド」
乗員の安全を守る「セーフティ」に加え、悪意の攻撃者から自動車を守る「セキュリティ」でも高い品質を実現していくために活用されることを目的として構成されており、自動車で想定される脅威と対策、セキュリティ強化のための取組み事項を紹介しています。
- 「2012年度 自動車の情報セキュリティ動向に関する調査」
昨年度に引き続き、日米欧での技術動向・事例などの調査を実施し、その結果を紹介しています。

※詳細は、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)のWebサイトにてご覧いただけます。
http://www.ipa.go.jp/security/ty24/reports/emb_car/

Topics 03 「品川区エコパワーカンパニー」に認定

2013年4月30日、環境に配慮した事業活動に率先して取り組む事業所として、品川区より「エコパワーカンパニー」に認定されました。

品川区では、環境ISOの導入や省エネ・省資源の推進、地域の環境教育、環境に配慮した技術・商品の研究開発などの環境にやさしい事業活動に率先して取り組む事業所を「エコパワーカンパニー」として認定し、区民に紹介しています。

当社のITによる省エネソリューション「BE GREEN Next」、ECOドライブを実現させる「カーソリューション」など環境に配慮した製品の開発、ならびに社内においての「BE GREEN Next」を活用した省エネ、廃棄物の削減、リサイクル等のエコ活動が積極的な取組みとして認められ、品川区のホームページで紹介されています。

詳細は、以下のWebサイトにてご覧いただけます。
<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000019800/hpg000019723.htm>



Topics 04 「安全なAndroidアプリケーションのための10箇条」を公表

スマートフォンの普及に伴い、利用時のトラブルやユーザークレームは増大傾向にあります。

当社では1997年以来、長年に亘り蓄積した評価事例を分析し、独自の試験項目「Ubiteqユーザビリティ評価シナリオ」を用いた効果的で効率的な検証を実現する「Ubiteq Androidユーザビリティ評価サービス」を2012年9月より開始。同時にAndroidアプリによるセキュリティ被害の報告も増大傾向にあり、脆弱性検証の必要性が高まる中、お客様の大切な商品であるアプリをユーザに安心してご利用いただけるよう、脆弱性の検証と改善の提案を行う「Ubiteq Androidアプリケーション脆弱性検証サービス」も開始し、脆弱性問題を発生させないための対策をご提案しております。

今回、これらの対策を整理し、安全なAndroidアプリケーションを実現するために、開発時に気をつけるべきことを10箇条の形でまとめ、当社ホームページにて公表しております。

より安全なAndroidアプリケーション開発のためにお役立て下さい。

詳細は、以下のWebサイトにてご覧いただけます。
<http://www.ubiteq.co.jp/news/pdf/20130603-android.pdf>

ユビキタス技術を磨き、世界に貢献できる品質を持った「便利になる」「使いたくなる」自社製品開発とサービスの提供を行って参ります。

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第37期は、紙幣鑑別ユニット等のATM向けセンシングモジュールが中国問題の影響を受けたことにより、期初より売上が伸び悩み、下半期では回復基調になったものの当初見込んでいた売上目標には未達となりました。また、カーソリューション事業では新規顧客獲得による売上を見込んでいましたが未達となり、黒字は確保したものの厳しい事業環境となりました。

第38期は、グループ全体によるローコストオペレーション体制を維持しながら、カーソリューション・環境ソリューションをはじめ、全事業分野において新たな製品・サービスの開発、新規顧客の開拓に注力して参ります。

「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」を実現する省エネソリューション「BE GREEN Next (BGN)」につきましては、昨年12月に「第7回ファシリティマネジメント大賞 (JFMA賞)」(主催：公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会)における「技術賞」、今年1月に「平成24年度省エネ大賞」(主催：一般財団法人省エネルギーセンター)における「省エネルギーセンター会長賞」を受賞し、「ITによる社会の省エネルギー」に貢献したソリューションとして高い評価を頂いております。

また、経済産業省エネルギー管理システム導入促進事業費補助金 (BEMS) を取扱う事業者である「BEMSアグリゲータ」として、BGNの新製品「スマートBEMS」の販売を今年7月より開始致しました。BGN拡販の立ち上がりには引き続き時間を要しておりますが、新たなラインナップも加わったことで代理店や顧客との連携をより強化した販売促進に注力し、満足度の向上と機能強化のための更なる開発投資を進めて参ります。

また、カーソリューション事業、スマートフォン評価・検証サービス事業につきましても新たな開発および事業展開に取り組んでおります。同時にブログ、Facebook、TwitterなどのSNSメディアを積極的に活用したタイムリーな情報発信を行い、当社のサービスの内容をより多くの皆様にご覧いただけるよう努力して参ります。

ユビテックは「人を感じて動く。人に合わせて動く。」ユビキタス技術を駆使することで「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」を実現する「省エネソリューション」や「カーソリューション」を提供し、社会の効率や利便性を上げて付加価値のあるものを作り上げるビジネスを創造していきたいと考えております。

世の中のライフスタイル、ワークスタイルが変わるような「人に役立つ」自社開発製品や自社サービス事業により、社会に「有難がられる」、「尊敬される」会社となるために、頑張っていこうと考えております。

今後も当社の企業理念に従い、引き続き社員一丸となり更なる成長に向け努力して参りますので、一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長 荻野 司

「沖縄セキュリティ&テストング検証センター」を設立
～株式会社プラスナレッジとの新規モバイル機器検証サービスを展開～

当社は、沖縄県にてニアショアビジネスを積極的に展開している株式会社プラスナレッジと業務提携し、共同でモバイル機器検証事業を推進することになりました。

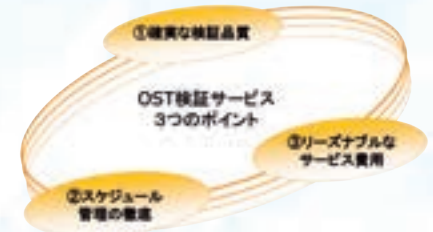
スマートフォンの普及が進む中、当社モバイル機器評価事業においては「ユーザエクスペリエンス(UX)=ユーザの利用体験」や、「セキュリティ」をテーマとした検証技術について、早期より研究開発を行なってきました。

今回の合意に基づき、両社によって沖縄県うるま市に設立した「沖縄セキュリティ&テストング検証センター」(略称：OST検証センター)を開発拠点とし、「利用頻度に注目した新評価手法」の確立とビジネス化を目指すべく、新たな検証サービスに取り組んで参ります。

■ 安心、安全で使いやすいスマートフォンを目指す検証サービス

実施業務：

- 1) Androidの脆弱性検証に重点をおいたセキュリティ検証
- 2) UXを利用した新たなテストングによる品質評価検証
- 3) 高効率テストング手法の研究開発



当社では、労働集約型であったテストング事業を知識集約型へと進化させ、さらにクラウドとネットを利用することで、コンカレント化と地域への展開を同時に実行できるテストングシステム確立を推進していきます。この度、人材、ホスピタリティの充実や今後ますます発展していくアジアへの窓口としての沖縄の優位性を最大限に活用することで、株式会社プラスナレッジの更なるニアショアビジネスの拡大が図れると確信するとともに、アジアから世界に繋がる検証センターを目指します。

株式会社プラスナレッジの会社概要・詳細は以下のWebサイトにてご覧いただけます。

<http://www.plusknowledge.co.jp/>



OST検証センターが入居する沖縄IT津梁パーク

企業理念

「次世代ユビキタス技術の創造に挑戦」
「技術と顧客志向」

ITによる快適+便利+安全な省エネを行う「BE GREEN Next」は、2012年12月21日に発表された公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会主催「第7回日本ファシリティマネジメント大賞 (JFMA賞)」にて「技術賞」を受賞。2013年1月24日に発表された一般財団法人省エネルギーセンター主催「平成24年度省エネ大賞」省エネ事例部門にて「省エネルギーセンター会長賞」を受賞いたしました。

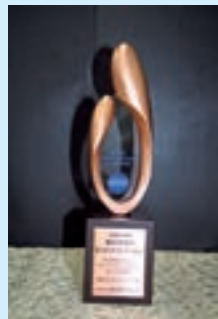
第7回日本ファシリティマネジメント大賞 (JFMA賞)

UGS (現: BE GREEN Next) の機能と自社での省エネ活用事例を紹介し、「技術賞」を受賞いたしました。節電はもとより、会議室等の最適な設備利用を可能とする管理ツールとしても認められ、ファシリティマネジメントに関する新しい手法、技術の取組みが行われている企業として、評価を頂いています。



平成24年度省エネ大賞

当社では、照明の自動間引きや一斉消灯、空調の自動間欠運転、タイマー設定などUGS (現: BE GREEN Next) の機能を活用し、前年比40%以上という高い節電効果を実現。独創性、省エネルギー性、汎用性、改善継続性に優れた取組みが行われており、今後の中小規模のビルへの波及が期待できると評価を頂き省エネ事例部門「省エネルギーセンター会長賞」を受賞いたしました。



高評価を得る「BE GREEN Next」から、この度、新たに導入時補助対象機器として新製品であるオフィス用省エネソリューション「スマートBEMS」、家庭用省エネソリューション「BE GREEN Next Home (HEMS)」を発売しました。

経済産業省BEMS補助金対応「スマートBEMS」

「スマートBEMS」とは

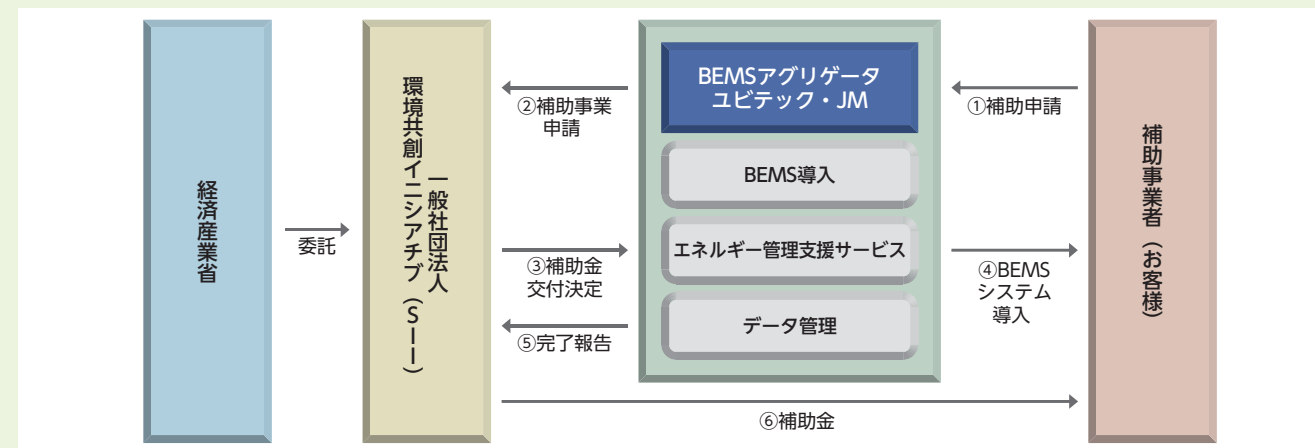
ビルの機器・設備等の運転管理によってエネルギー消費量の削減を図るためのシステムBEMS (Building and Energy Management System)。「スマートBEMS」は、BE GREEN Nextの新製品であり、デマンドコントローラー機能によりピーク電力をカットし、基本料金を削減するだけでなく、タイマー制御機能により平常時の電力を抑え、従量料金も削減します。従来のBEMSが対象としていない中小規模ビルにも主装置を設置するだけでコスト負担も少なく導入でき、見える化からユビテックが特許を有する省エネプレート機能による部屋・設備単位でのマイクロな制御まで、社内のパソコンやスマートフォンから手軽にご利用頂けます。

BEMS導入補助金 (エネルギー管理システム導入促進事業費補助金) について

経済産業省がBEMSの導入を促進し、ビルや工場において10%以上の節電を達成するために2011年度から開始した補助金です。

項目	概要	備考
補助金の額	設備費1/2~1/3、工事費1/3以内	上限250万円
期間	~2014年3月末	期間内に手続き完了が必要。
申請条件	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の電力データを経済産業省及び事業管理団体に提供頂きます。 緊急節電要請が来た場合には、節電にご協力頂きます。 	

補助金申請の流れ



経済産業省HEMS補助金対応「BE GREEN Next Home (HEMS)」

「BE GREEN Next Home (HEMS)」とは

住宅のエアコンや給湯器、照明等のエネルギー消費機器と、太陽光発電システムなどの創エネ機器と、発電した電気等を備える蓄エネ機器をネットワーク化し、居住者の快適やエネルギー使用量の削減を目的に、エネルギーを管理するHEMS (Home Energy Management System)。

「BE GREEN Next Home (HEMS)」では、家庭の電力を自動で計測&見える化、更に太陽光発電の発電量や売電量も見える化します。また、電気を使い過ぎるとアラートメールで使い過ぎをお知らせし、節電をお手伝いします。

システムのイメージ



HEMS導入補助金 (エネルギー管理システム導入促進事業費補助金) について

項目	概要	備考
補助金の額	定額7万円	製品定価は、117,000円。
期間	~2014年1月末	期間内に手続き完了が必要。
申請条件	<ul style="list-style-type: none"> 民生用住宅への設置 電力計測結果をモニタリングし、日常生活における電力需要の抑制に取り組んで頂きます。 計測・蓄積した電力データ等を定められた様式にて報告及びアンケートにご協力頂きます。 	

当連結会計年度におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要などにより緩やかな回復基調となり、新政権による経済対策や金融政策への期待感から円安、株価上昇が進むなど、景況感に回復の兆しが見られたものの、实体经济の改善には至っておらず、欧州債務問題の長期化、中国をはじめとする新興国における経済成長率の鈍化等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。当社グループの関連市場においても、特に大手電機メーカーの収益悪化の影響により、設備投資抑制は続き、需要回復の遅れや価格低下圧力が強まる等、全般的に厳しい事業環境となりました。

このような状況の中で、当社の既存事業も厳しい結果となりましたが、引き続きグループ全体によるローコストオペレーション体制を維持しつつ、顧客先企業の影響を受けにくい自社製品・サービスの開発に注力してきました。特に、省エネソリューション事業のUGSをさらに進化させた「BE GREEN Next (BGN)」やカーソリューション事業の車載システムについては、「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」を実現する製品として、当社の将来的な基幹事業にすべく、代理店や顧客との連携をより強化し、満足度の向上と機能強化のために更なる先行開発投資及び販路拡大に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は3,313百万円（前期比8.4%減少）、営業利益は101百万円（前期比45.4%減少）、経常利益は169百万円（前期比20.8%減少）、当期純利益は88百万円（前期比14.1%減少）となりました。

連結各セグメントの概況について

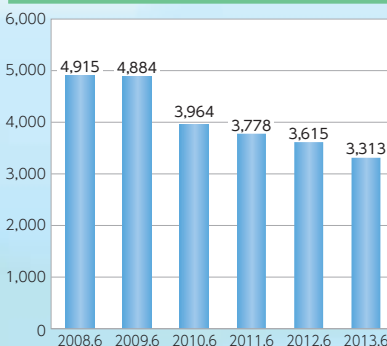
電子機器事業は、紙幣鑑別ユニット等のATM向けセンシングモジュールが中国問題の影響を受けたことにより、期初より売上が伸び悩み、下半期では回復基調になったものの前期比若干の減少となりました。また、カーソリューション事業についてはオリックス自動車向けには前期並みの売上となりましたが、新規顧客獲得には至りませんでした。また、コスト削減については業務全体を見直しながら関係協力会社にもご協力頂き、仕入コストや外部委託費用についての削減を継続して進めております。

この結果、当連結会計年度の売上高は2,178百万円（前期比6.3%減少）、セグメント利益は409百万円（前期比17.5%減少）となりました。

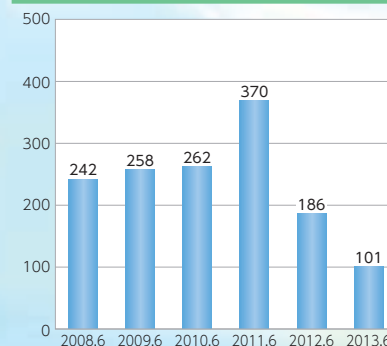
モバイル・ユビキタス事業については、子会社のユビテックソリューションズは堅調に推移したものの、携帯電話評価業務の売上が大幅に減少となりました。省エネソリューション事業については、「第7回ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）技術賞」、「平成24年度省エネ大賞省エネルギーセンター会長賞」を受賞し、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の助成金を活用した研究開発も予定どおり進み営業外収入を確保しましたが、売上に大きく寄与することは出来ませんでした。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,135百万円（前期比12.1%減少）、セグメント利益は5百万円（前期比47.2%減少）となりました。

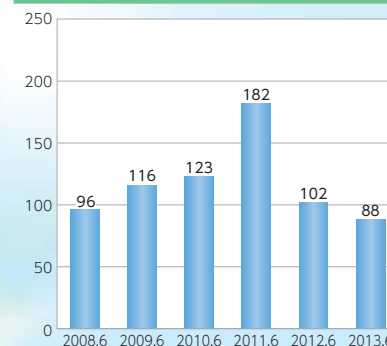
連結売上高 (百万円)



連結営業利益 (百万円)



連結当期純利益 (百万円)



連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年6月30日)	当連結会計年度 (2013年6月30日)
資産の部		
流動資産	3,897,724	4,024,954
現金及び預金	2,584,692	2,494,041
受取手形及び売掛金	1,184,688	1,388,756
たな卸資産	53,241	61,721
その他	75,102	80,435
固定資産	226,591	216,505
有形固定資産	75,206	77,371
無形固定資産	14,309	13,867
投資その他の資産	137,075	125,266
資産合計	4,124,316	4,241,460

	前連結会計年度 (2012年6月30日)	当連結会計年度 (2013年6月30日)
負債の部		
流動負債	673,324	735,980
固定負債	58,148	47,850
負債合計	731,472	783,830
純資産の部		
株主資本	3,352,979	3,401,644
資本金	880,794	882,323
資本剰余金	594,696	596,225
利益剰余金	1,952,962	1,998,570
自己株式	△75,474	△75,474
その他の包括利益累計額合計	△13,378	△11,566
新株予約権	32,797	45,556
少数株主持分	20,445	21,994
純資産合計	3,392,843	3,457,629
負債純資産合計	4,124,316	4,241,460

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年7月1日から 2012年6月30日まで)	当連結会計年度 (2012年7月1日から 2013年6月30日まで)
売上高	3,615,601	3,313,281
売上原価	2,782,649	2,622,322
売上総利益	832,952	690,958
販売費及び一般管理費	646,552	589,274
営業利益	186,400	101,684
営業外収益	32,921	73,096
営業外費用	5,438	5,392
経常利益	213,883	169,388
特別利益	—	—
特別損失	13,047	1,685
税金等調整前当期純利益	200,836	167,702
法人税等合計	95,912	77,721
少数株主損益調整前当期純利益	104,924	89,981
少数株主利益	1,935	1,502
当期純利益	102,989	88,478

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年7月1日から 2012年6月30日まで)	当連結会計年度 (2012年7月1日から 2013年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160,160	△55,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,320	△616,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,483	△40,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,418	19,876
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△236,383	△692,650
現金及び現金同等物の期首残高	1,671,075	1,434,692
現金及び現金同等物の期末残高	1,434,692	742,041

■ 会社概要

商号

株式会社ユビテック
Ubiteq, INC.

設立

1977年(昭和52年)11月17日

所在地

〒141-0031
東京都品川区西五反田一丁目18番9号
五反田NTビル

資本金

882,323,038円

金融商品取引所

東京証券取引所(ジャスダック)

会計監査人

有限責任 あずさ監査法人

証券コード

6662

従業員数

124名(連結)

■ 役員 (2013年9月20日現在)

代表取締役社長	荻野 司
常務取締役	明石 直人
取締役	白木 道人
取締役	野方 孝之
取締役	徳田 英幸 ※1
取締役	江崎 浩 ※1
取締役	小島 一雄 ※1
取締役	錦織 雄一 ※1
取締役	林 雅弘
常勤監査役	平田 満
監査役	小林 稔忠 ※2
監査役	与謝野 肇 ※2
監査役	高橋 通 ※2

※1 徳田 英幸氏、江崎 浩氏、小島 一雄氏、錦織 雄一氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※2 小林 稔忠氏、与謝野 肇氏、高橋 通氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 株式情報

発行可能株式総数.....520,000株
発行済株式総数.....144,468株
株主数.....2,502名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
オリックス株式会社	85,272	59.60
パナソニック株式会社	14,400	10.07
荻野 司	2,884	2.02
土屋 延寿	1,520	1.06
糸谷 輝夫	1,475	1.03
後和 信英	1,395	0.98
株式会社サン・クロレラ	1,140	0.80
株式会社SBI証券	1,033	0.72
小島 祥吾	650	0.45
平田 満	633	0.44

※上記のほか当社所有の自己株式1,400株があります。

■ 株主メモ

事業年度 毎年7月1日～翌年6月30日
 期末配当金受領株主確定日 毎年6月30日
 中間配当金受領株主確定日 毎年12月31日
 定時株主総会 毎年9月下旬
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.ubiteq.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR活動の取り組み

アナリスト・機関投資家説明会を開催しました。

アナリスト・機関投資家の皆様に、ユビテックの事業内容や今後の展望について、代表取締役社長 荻野 司から直接ご説明させて頂く機会として、年2回、アナリスト・機関投資家説明会を開催しています。

第37期(平成25年6月期)決算説明会は、2013年8月21日(水)に兜町平和ビルで開催いたしました。機関投資家やアナリストの皆様にお集まり頂き、熱心に当社の説明を聴いて頂きました。

この内容は、ホームページ上で動画配信しておりますので、是非ご覧ください。

株主アンケートについて

同封のアンケートにて、株主の皆様のお声を是非お聞かせください。(切手不要)

● ホームページのご案内 ●

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解頂くためのさまざまな情報を提供いたしております。

<http://www.ubiteq.co.jp/index.html>

株主および投資家の皆様に向けた内容をご覧頂けます。

決算短信、決算説明会資料、有価証券報告書、ビジネスレポートなどを掲載しています。



決算説明会の動画はこちらよりご覧頂けます。

個人投資家向けメール配信サービスについて

三菱UFJ信託銀行が運営している「Dir Netservice」に登録された投資家の方々にIR情報・プレスリリース情報を適宜配信しております。メールの配信ご登録は、<https://www.dirnet.jp/6662>

